



株式会社カセ
代表取締役社長
あさかわ まきひろ
笠川 章弘 さん

市長 課題を乗り越えるための考えや取り組みを教えてください。
笠川 これまでの委託加工の事業に加え、自分たちで作ったものを自分たちで売る自販事業などに取り組み始めました。
織田 繊維の魅力を見たり、体験し

繊維産地の基盤を活かし別のアプローチから新たな輝きを作る



白木興業株式会社
代表取締役
しろき かずゆき
白木 和幸 さん

たりする機会を勝山で増やすことで、勝山で繊維に携わる人が増えるのではないかと思います。工場見学やシルクスクリン体験に申し込みたり、新たな視点の取り組みとして、端材（ロス）を活用した事業などに取り組んでいます。
小泉 繊維産地として「産業の観光化」ができないかと考えています。勝山市に行けば、工場見学や織物体験ができ、製品を買うこともできる。産業観光のまちを目指せたらと思っています。
白木 商工会議所の繊維部会では、「越前勝山織」の地域団体商標登録に向け活動しています。「越前勝山織」で高品質をアピールできればと考えています。
市長 大きな課題がある中での、新たな取り組みや挑戦は、勝山の繊維の新たな輝きで、繊維産業を次の世代に残していくためのキー



株式会社ラコム
代表取締役
おりはら けんじ
織田 研吾 さん

白木 ものづくりの本質は現場にあって、それぞれの現場を知る方と話す中で、面白いアイデアが

かっこいいものづくりの姿をPRし勝山を賑やかに

フードになると感じています。
白木 □外できないだけで、実は、全世界に誇れる技術が勝山にはあります。各企業が協力しあって何かを作りあげていけたら面白いと思っています。
山岸 繊維産地として生き残っていくためにも協力しあって一歩踏み出すことが大事だと思います。
市長 勝山の未来に繊維は重要です。建物が100年以上の歴史をもつ「ゆめおれ勝山」を核に市としても、繊維の魅力の発信や支援などを考えていきたいと思っています。

今回行った全ての対談内容は市ホームページに掲載しています。



市内企業の紹介誌「いんとろ」では他の繊維関連企業も掲載しています。



いんとろ
HPはこちら

生まれてくると感じています。
小泉 会社で働く職人の姿はともかくいいです。勝山全体で勝山の職人のすごさをアピールしたいなと思っています。そして、市外、県外、国外からもここで働きたいと思う人を増やすことで、勝山市の活性化を図れたらと思います。



若手経営者が語る 繊維の未来



株式会社エヌ・ビー・ワイ
代表取締役社長
やまぎし りょうすけ
山岸 亮介 さん

市長 現在の勝山市は、明治以降に発展してきた繊維産地によって形作られてきました。今回は、繊維産地としての勝山の現状や今後についてお話を伺いたいと思います。まずは、現在抱えている課題はありますか。
山岸 昨年から原材料価格高騰や電気代の高騰などで非常に厳しい経営状況ですが、ここを乗り越

明治から続く繊維産地業界全体で困難を乗り越える

今回、市長と市内繊維会社の若手経営者が対談を行いました。電気、燃料、原材料費の高騰、人手不足などの課題に対し、繊維に携わる方々が何を思い、未来に向けてどう行動するのかお話を伺いました。



松文産業株式会社
代表取締役社長
こいずみ あやこ
小泉 綾子 さん

切るためには、業界全体で産地を盛り上げる必要があります。
小泉 電気代や燃料費の高騰などは、自分たちの努力でできる範囲を超えています。
白木 自社だけでなく、産地として生き残ることを私たちの世代で考えていかないといけないですね。
織田 人員の確保にも課題があります。現在、縫製は海外が主流ですが、徐々に国内の需要も増えてきています。
白木 若返り（技術の継承）を図りたいと思っていますができていないのが現状です。
笠川 繊維業に関わる人が減少し、ベテランや技能実習生に頼らざるを得ない状況です。身近に繊維を感じにくくなった現在、ホームページやSNS、ゆめおれ勝山などを活用しながら、産地全体でPRできればと思います。